

## 遮光開始期がトリカブトの生育・開花に及ぼす影響

誌名	群馬県園芸試験場報告
ISSN	03867609
著者	上村, 勇美 花岡, 喜重 佐藤, 三郎
巻/号	11号
掲載ページ	p. 65-66
発行年月	1983年2月

## 遮光開始期がトリカブトの生育・開花に及ぼす影響

上村勇美・花岡喜重・佐藤三郎

Effect of the Beginning Time of Shading on the Growth  
and Flowering of Chinese Monkshood

Isami KAMIMURA, Yosisige HANAOKA and Saburô SATÔ

## I 目 的

前報(1)で標高500m地域における生育期の適切な遮光程度は60~70%であることが判明した。しかし遮光開始期は不明である。遮光開始期をちがえて遮光し、生育、開花および切花品質におよぼす影響を明らかにし遮光開始の適期を知ろうとした。

## II 試 験 方 法

1975年、場内圃場(標高470m, 浮名質火山灰土壌)に10~20gの種球を床幅1m, 1.5×1.5cmで1区378球を12月18日に植え付けた。基肥としてa当り化成肥料を8kg, 過燐酸石灰1.8kg(窒素1.2g, リン酸1.5kg, カリ1.2kg), 石灰窒素10kg, 堆肥200kg, 鶏糞30kgを施し, 追肥は4月28日条間に単肥で窒素, カリ各々成分で400gを施し, 7~10日間隔で殺菌, 殺虫剤を散布し, 病害虫を防除した。

遮光は5月18日より2週間隔で7月15日まで5回に分け, ダイオシート10(遮光率60%)

を用い, 各遮光開始期より開花まで地上1.5mに被覆し, 生育, 開花, 品質を調査した。

## III 結果および考察

遮光開始期のちがいと生育, 開花を第1表に示した。遮光開始期のちがいにより, 草重, 草たけ, 花穂長, 花数など品質に差がみられた。6月2日以後, 遮光が遅くなるにしたがい草たけ, 花穂は短くなり, 草重, 葉数, 花数も少なくなった。開花は遮光が早いほど遅れ, 5月18日遮光がもつとも遅くなった。6月2日および6月18日遮光は, 開花がやや遅れたが草たけ, 花穂は伸長し, 葉数, 花数も多く品質的に良好であった。

遮光開始期の平均気温を第1図に示した。5月4半旬は15℃で低く, 6月1~4半旬は18~19℃と上昇し, 7月1半旬は15℃に降下するが3半旬には急激に気温が上昇した。

大塚ら(1)は幼苗からの短日, 花芽分化前からの短日は生育を遅延させるとともに花芽分化を阻害し, 遅延させると報告している。また和田ら(2)によると日照不足は花芽の発育を阻害するとしており, 本調査で早い遮光ほど開花の遅れをみとめたが, これらと同様であろうと推測される。

大塚ら<sup>②</sup>によると自然日長下の花芽分化は葉数14枚内外、平均気温20℃位のとき行なわれるとし、これ以上の高温は花芽の発育が遅延すると報告している。また和田ら<sup>③</sup>によると花芽分化は6月20日前後、草たけ29.5cmの結果がある。大塚ら<sup>②</sup>は日長処理において開花を早めるには、花芽分化直前の葉数12枚からの短日処理が有効としている。

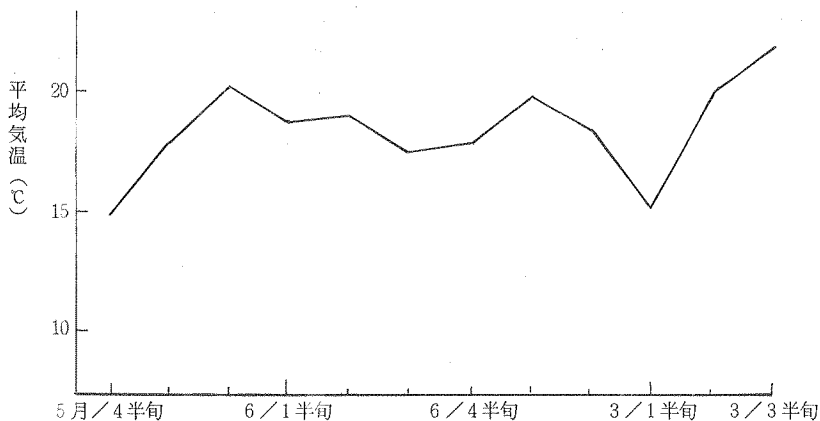
本調査において6月2日および6月18日遮光では、草たけ、花穂が伸長し葉数、花数も多く品

質的に良好であり、また遮光開始期の平均気温は18~19℃であり、草たけ、葉数、気温、遮光時期などからみて花芽分化直前の遮光開始であったものと考えられる。

遮光開始期は気温およびトリカブトの生育ステージと関係が認められ、切花品質に大きく影響をおよぼすものとする。遮光開始期は、草たけ30cm前後、葉数13~14枚、平均気温18~19℃の花芽分化直前からが最適であり、本地域で言うならば6月上、中旬が遮光開始の適期と判断される。

第1表 遮光開始期のちがいと生育、開花（開花時区当りの平均値）（1976）

遮光開始期	1本重 (g)	草たけ (cm)	葉枚数 (枚)	茎径 (mm)	花穂長 (cm)	花数 (個)	平均開花日 (月 日)
5月18日	83.6	58.1	22.3	6.1	24.9	56.5	9.26
6月2日	101.0	61.2	24.4	8.1	28.7	65.6	9.23
6月18日	104.9	58.9	25.5	7.6	26.8	53.3	9.21
7月2日	97.4	58.6	24.7	7.7	25.5	47.5	9.21
7月15日	94.4	53.3	23.7	6.6	22.3	42.1	9.19



第1図 遮光開始期と平均気温（1976）

#### Ⅳ 文 献

1. 上村勇美・花岡喜重・佐藤三郎. (1983) 数種の遮光資材による遮光程度の差違がトリカブトの生育・開花に及ぼす影響. 群馬園試報.

11:62-64.

2. 大塚文夫・垂井昌明. (1968) トリカブトの生態に関する研究. 長野園試報7:51-61.
3. 和田修・池内康雄. (1972) トリカブトの遮光効果試験. 兵庫農試但馬分場, 昭和47年度花き試験成績. 14-15.